

令和4年8月度広報委員会会議録

日 時 令和4年8月5日（金） 14:00～14:40
場 所 新居浜市役所4階 41会議室
出席者 片上くるみ委員、永井昭憲委員、矢野司委員、米山博子委員、大隅恵里香委員、青野祐大委員、安部幸子委員（7名）
傍聴者 なし
事務局 シティプロモーション推進課 日野副課長、白川主任

議題

- (1) 市政だより8月号について
- (2) 市政だより9月号について
- (3) その他

会議録

事務局	ただ今より、令和4年8月の広報委員会を開催いたします。 (会長、副会長とも不在のため挨拶は割愛)
事務局	それでは議題に入りたいと思いますが、今回人数が大変少なくなっております。班分けをすると何度も意見を伺うこととなりますので、7人を一つの机にまとめさせていただきたいと思います。 では、市政だより8月号について、御意見をいただけますでしょうか。
永井委員	市議会だよりの表題が分かりづらい。色が薄いので、もう少しメリハリのある色にした方がいいのかなと思います。 表紙は、重量挙げというのが一番よく分かって、若い女性で明るい笑顔で非常に良いんじゃないかなと思います。重量挙げっていうのはあまり身近なものじゃないんですけど、今回の特集で身近に感じられて、新居浜は選手数が結構いるんだなと思いました。ゲンバ男子は、これからの新居浜を背負っていく若い人がたくさんいるのが感じられて非常に良かった。これを見て、後に続く人が出てくればいいかなと思います。青少年標語のコンクール、上手いことレイアウトがされていて読みやすかったです。青と黒のページについては、イラストや写真があって、楽しく読めたし、市議会だよりはもう少し分かりやすいといいんじゃないかなと。保健の窓口についても随所にイラストがあって、楽しく見られたと思います。市政ニュー

	<p>ースは、上手く配置されているのではないかなと思います。イベントニュースは今回初めてで、非常に分かりやすく、読みやすい。実施日がある程度、日付順に並べた方がいいんじゃないかなと思いました。</p>
青野委員	<p>表紙も特集もインターハイのウエイトリフティングを取り上げていて、すごく良いものができていると思います。市政ニュースは項目ごとにカラーではないけれど、写真があったり、それぞれ表や図もあったりして、読みやすさに工夫があったと感じました。おしらせ記事も、絵などがあることで、文字だけで疲れにくくなるように工夫がされていると思いました。</p>
片上委員	<p>表紙と特集との内容が一体感があって、読み進めやすかったと思います。写真も見ていて、元気がもらえるようなものでした。内容も、インターハイの出場者にインタビューされていて、いろんな人が関心を持つきっかけになる内容。ウエイトリフティングの競技の説明を、言葉だけではなくて写真をコマ送りのような形で使っていたのですごく分かりやすかったです、目で見なくても楽しい雰囲気でした。</p> <p>ゲンバ男子のコーナーは、他のページは白を基調とされているところに、背景が黒ですごく目立つ。地元の企業とか働く人達を紹介することによって、地元就職をする人が増えたらいいんじゃないかなと思いました。市政ニュースについては、担当課の方のそれぞれの個性が出ている写真が使われていたので、同じようなポーズだけではなく、個性のある写真で楽しく読ませていただきました。イベントニュースは夏のイベントが見開きで載っていたので、お出掛けの参考になると思いました。保健の窓口には、食中毒や熱中症についての記事がありますが、今の時期に必要な情報だったかなと思います。</p>
米山委員	<p>表紙は明るくて表情も豊かで良かったかなと思います。あまりウエイトリフティングはルールとか分からなくて、興味があるかと言うと身近に感じていなかったんですけど、イラスト的に説明させていただいて、ルールなどを見ると、すごく分かりやすく、ウエイトリフティング見てみようかなと思うようなものでした。ゲンバ男子はすごく表情も良くて、真剣な表情でいいなと思ったんですけど、最近現場で働く女子も増えてきているので、ここはゲンバ男子とあるからかもしれませんが、1人か2人くらい女の子がいてもいいのかなと思いました。</p>

	<p>熱中症の情報で、伊予市の広報紙を見ると、熱中症予防に関して、症状がこうで、その応急処置がこうで、とあって、予防していてもこんな症状が出たときは危ないとか、こういう対応を早めにしましょうといった、もう少しそういう内容があったら良かったかなと思いました。個人的な考えですが、13 ページのコロナの記事で、「体調が悪い人には帰ってもらいましょう」という言い方がすごく上から目線というか。この人も体調が悪くないと分らず来ていたかもしれないから、ここの文章が「来るときに体調をチェックしましょう」とかだと良かったかなと思います。</p> <p>他も盛りだくさんだったけど、いろんなところに矢印があって、すごく分かりやすく、以前よりもだんだん分かりやすくなっているかなと思いました。</p>
大隅委員	<p>表紙のことなんですけど、写真はページの端っこまであるのが見やすく好きで、いつもここ（下）にコロナの案内があると思いますが、下まで写真を伸ばして、特集みたいな感じで文字とか置いて、その横とかに新型コロナの情報は何ページといった感じにすれば、そのページを開けたらすぐに情報が分かるみたいな方が見やすいのかなと感じました。写真も大きくてインパクトがあって、六角形の写真があったんですけど、他のところも周りをぼかしてみるとかしたら、さらに見やすいというか面白い感じになるのかなと感じました。</p>
安部委員	<p>表紙がすごく良いと思います。笑顔も良いですし、新居浜のウエイトリフティングというのがすごくアピールされていて。「挙げます」という言葉、こういうのを写真に乗つけられるのもいいなと思ったんですけど、もう少し欲を出すと、「バーベルも上げるけどテンションも挙げる」とか、せっかく載せるなら食いつくような一言だとなお良いのかなと思いました。白の余白は、これで形は定着していると思いますけど、全面の広報紙もちらほらあるので、こういうやり方もいいのではないかと思います。裏表紙の右下の Instagram の画面が最初は先月のままだったのが、公式 LINE のものになっていたのも、毎月変えていった方が変化があるのでいいかなと思いました。特集ページは言わずもがな、すごい力が入っているなど。読み応えもあって、力の入れ具合が分かったのと、そのままゲンバ男子のページに入ると、先月までの開けてすぐの流れだと、ゲンバ男子のポスター的なところが浮いていたのかなと思うんですけど、ウエイトリフティングの力が入った記事があるからあま</p>

	<p>り違和感なく、流れでそのまま読み進められました。2色ページも、市職員さんの顔色がだんだん明るくなってきていると思います。すごく親しみがあって良いと思いました。20ページのあかがねポイントの内容も、多分今までだと文字だけだったところを、画像を入れたり、文字のフォントを変えたり大きさを換えたり、位置を変えたりして、青黒ながら見やすくなっていると思いました。おおきくなれば写真の数が少ない。他の市の広報紙を見ると一面赤ちゃんの写真で、それだけ集まるのはプレゼントでもあるのかなと。イベントニュースは、すごく見やすくなっている。夏休みどこ行こうかなとワクワク考えられるような構成にしてくれている。細かいことを言えば、イベントニュースの「01」のキャラクター横の吹き出しの位置、下の写真の人がコメントしているみたいな向きなので気になりました。イラストも増えていて、スマイルのページも安定して内容が良かったです。</p>
<p>矢野委員</p>	<p>全体を通して、この委員会に入ってきてから見てきた市政だよりの中で一番良かったと思いました。あまり言うことはないのですが、まず表紙を見た時に重量挙げだなと分かって、昔(スポーツを)やってきた人は今がインターハイの時期だと分かると思うんですけど、何もやってこなかった人だとあまり知らないのかなと。今四国でインターハイやってるというのも知らない可能性があるなと思いました。(競技によって)日にちがバラバラなので、新居浜でやっているのであれば、最後の方でいつあるのか結論みたいな感じで書いてあるけど、表紙にあるといいなと思いました。</p> <p>デザインのことで、そこまでこだわる必要ないのかなと思うんですが、表紙が黒メイン、真鍋さんのページでも黒になっていて、そこから学生の服の色もあって黒が結構目立つ。ワクチンのページを挟んで、その後また、たまたまかもしれないけどゲンバ男子のページで黒になっている。でも4ページはいつもと同じような感じのデザイン、青っぽい感じで、ここも黒を基調にしておくと、市政だより第1章のところがゲンバ男子のところで綺麗に終わる感じになるのかなと。コロナワクチンをずらせるなら後ろにしてあげれば、最初から最後まで特集がびしっと決まるなと思いました。</p> <p>おしらせページで、前にも言われていたかもしれないんですが、おしらせだけ後ろからスタートする感じになっているので、2ページ目にあるような目次が裏表紙にもあると見やすくなるのかなと。おしらせを見るときは後ろから捲って下さいみたいな感じができ</p>

	<p>るといいのかなと思いました。今月号はすごく良かったと思います。</p>
事務局	<p>次号以降に生かせる部分は生かしていきたいなと思います。</p> <p>市政だよりについて御意見いただいたんですが、今回コロナの関係でこれまでやっていなかったインスタでの啓発や YouTube で職員の声やコロナに罹った人の体験談を動画で流すという試みをしました。見ていただいた方はいますでしょうか。</p> <p>新居浜市の HP で広報のところに来ていただければ、YouTube の動画のリンクも貼っているので、よろしければ見ていただければと思います。</p> <p>見ていただいた方が 3 人おられるので、御意見や改善点などいただければと思いますが、何かありますでしょうか。</p>
永井委員	<p>コロナ第 6 波のときに行動制限があったけど、今回は政府も県も全くやらない。どこが苦慮しているかといえば医療。医師が一番大変な思いをしているが、誰も行動制限などストップをかけないから、どんどん広がっていく。新居浜は 10 万人あたりにしたら県で常にトップ。市である程度行動制限をかけるような呼び掛けをやっていかないといけないと思います。今はボランティア活動など、自分で制限をかけてストップしている。個人に任せることも大事かもしれないけれど、中止にならず同じようにやっているイベントもあるし、その辺を考えてもらいたいと思います。コロナについてはそう思います。</p>
事務局	<p>コロナについては昨年厳しい制限をかけさせていただき、公民館や自治会館の利用制限や、買い物すら多めに買ってもらうという風に呼び掛けました。それは 1、2 年目のことで、今年 3 年目になって、皆さんもそういった気を付けなければならないことについて分かっているという中で、行動制限までするのはなかなか難しいところがあったかと思います。我々も行動制限については決まっていないので難しいですが、自分で守っていくというところをもっと意識して動いて下さいねという部分で動画を作らせていただきました。行動制限がないから自由だというのではなく、ないけど、自分達で抑えていくという感覚をもつていただく方向で広報を進めていこうとしています。去年と違う形で、明るい雰囲気動画を作るなどの広報活動をして、どういう効果が出るのか試しながら、というところ。次回までに時間があれば見ていただいて、御感想を聞かせてもらえればありがたいです。</p>

事務局	他に何か市の広報についてお気付きになった点、こういった点もしてもらいたいといったことがあれば聞かせていただけますか。
矢野委員	動画を見させてもらって、3本全員、市役所のユニホームみたいなものを着ている動画だったと思うんですけど、どちらかといえば普通に街中を歩いている生の人の声の方が聞きたいなと思います。夏休みになって学生も友達と会っちゃいけないとか、どういう風に行っているのか分からないんですけど、じゃあ周りの人ってどれだけコロナの対策をとって動いているんだろうということはあまり分からない。市の服を着ていると、新居浜市はこういう風にやって欲しいんだというのは伝わるんだけど、周りの人のことはあまり分からないなと思ったので、できるのであればインタビューみたいな感じで、顔は映さず、どういう対策をとっているか話を聞かせてくれませんかといった感じの動画が上がっていると、新居浜の人ってこういう風な対策をとっているんだ、と見る人は思うと思うので、もし可能であればやってもらえたらなと思いました。
事務局	今回の動画の中でも保育園に通わせているお母さんに顔を隠してちょこっとだけ映していたんですが、もう少し学生とか自分達と立場が同じような人の意見、いろんな世代のインタビューをとれたらなと思います。
安部委員	今のに付け加えて、ちょっと思い切った言い方をしたら、サクラっぽい感じがしてしまう。職員さんのユニホームが出ちゃうことによって、なんか言わされているような、台本があるような感じを受けちゃったので、現場のリアルな声みたいなのはそういう風にしてもらった方がいい。見ている方も内々の人を使ってやっていると思っちゃうとあまりメッセージとして響かなくなっちゃうかなと。タイトルの画像は今っぽく良い感じの色合いで、手書きの文字があって、一生懸命作られていると思うけど、それからはまたインタビュー映像でギャップがちょっと気になりました。
事務局	いただいた意見は両方とも、市民の方がどういう風に、と思われた部分で、今回のものとは内容が違う部分はあるかと思いますがけれども、当然我々も市民の方の声はお聞かせいただきたいし、なぜ新居浜市だけ増えているのかということところにも繋がっていくのかなと思いますので、そういったところを正確に解いていくと、啓発であったり、施策であったりという部分が的確に打てていけるのかなと思いますので、ぜひ対策本部にも伝えておきたいと思います。
事務局	次に、市政だより9月号の予定について、簡単に説明させていた

できます。お配りしてあるページ割を御覧ください。事前にお送りしたものは少し変わっております。

まずは、新居浜市出身の作家高瀬隼子さんが芥川賞を受賞されたというニュースを1ページで紹介します。次に、台風シーズン到来ということで、以前の広報委員会で永井委員さんが御提案くださった、水害への備えについて取り上げます。非常持ち出し袋に用意しておけばいいもの、避難するときの注意点、どういうタイミングで避難するかなどについて紹介できればと思っております。それから今開催中のインターハイ、ウエイトリフティング競技について、写真で高校生の熱戦を紹介するページも作成します。コロナワクチンのおしらせについては、ワクチンそのものという記事ではないのですが、これも以前の広報委員会で、矢野委員さんからの「実際コロナになったらどうすればいいのかという基礎知識についての内容を掲載してはどうか」という御提案を受けまして、基礎的な情報をQ&A形式で紹介しようと思っております。裏表紙については、9月号から4ヶ月にわたって、地域の子育て拠点施設を2箇所ずつ紹介する予定になっています。それぞれの拠点でどういう魅力があるのか、どういう特長があるのかといった情報を一つずつ紹介しようと思っております、

来月号について、何か御意見などありますでしょうか？

特にないようですので、その他としまして、次回の広報委員会定例会について御案内致します。

次回の広報委員会ですが、9月5日月曜日午後1時半から、本日より同日41会議室にて開催する予定にしておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは以上で広報委員会を閉会させていただきます。

お忙しい中、ありがとうございました。